



企業はどのように ワークスペースを 再構築しているのか



仕事を
もっと人間的にして、
つながりやコラボレーションを
強めることができるのでしょうか？



「従業員がオフィスに出勤するのは、会社の方針がそうだからではありません。他の従業員たちとのつながりを求めるためにやってくるのです。」

SATYA NADELLA氏、MICROSOFT[®]社、CEO

ハイブリッドワークが登場した新たな世界で、企業は従業員にとって最適なアプローチを見つけ出すべく、オフィススペースやテクノロジーの模索を続けています。多くの場合、人を取り囲むスペースの再デザインや、どこからでも仕事ができるツールの提供が行われています。

当社のお客様やパートナーの多くは、ハイブリッドワークにおいて3つの原則を目安としています。

1. 従業員がどこにいても、チームワーク、コラボレーション、生産性をサポートする
2. 従業員の体験を優先し、常に従業員を関与させる
3. 変化する世界に対応できるように、迅速に切り替えができる柔軟性を大切にする

企業はこのようなアイデアを現実化しています。いくつかの例をご覧ください。

導入 事例

ロジケールのエコシステム内にいる多くのパートナーやお客様は、当社製品の利用を通じて、よりコラボレーションに適したワークスペースを実現しています。テクノロジーをいかに活用してワークスペースを再構築しているのか、ご紹介しましょう。



STEELCASE

Steelcase社は、ハイブリッドワークに対応したワークスペースに関する新たなビジョンを掲げ、世界中にある自社のWorkLife Center（ワークライフセンター）において、ロジカルと協同で新しいハイブリッドオフィスの実験を行っています。

その環境は、ワークスペースが**公平性**、**積極的関与**、**使いやすさ**、という3つの設計目標をいかに達成しているかを実証しています。



「企業は、以前と同じワークスペース環境のままでは、従業員をオフィス勤務へと復帰させることはできません。ハイブリッドワークは従来の働き方とは違います」

GALE MOUTREY氏、STEELCASE²
 社、イノベーション担当VP



「各ワークスペースは、従業員のパフォーマンスを高めるだけでなく安らげる場所として機能するように設計されています。その実現方法はユニークです。ビデオ通話や直接対面の会議で、従業員が人間関係を育める個人的な空間を構築することは、新時代のハイブリッドワークに欠かせない要素でした」

CHERIE JOHNSON氏、STEELCASE³
社、グローバル デザインディレクター

Steelcase社は、設計プロセスの早い段階からテクノロジーと物理的スペースを融合し、シンプルで直感的に使用できるダイナミックなワークスペースをすることで、将来の新たな働き方を形作ることを目指しています。

[より質の高いハイブリッドワークを実現できるように設計された新しいスペースを見る](#)

DIRTT

DIRTT社では、ビデオコラボレーション ツールの使用が爆発的に増えると同時に、ビデオを設計や施工に取り入れたワークスペースに対する顧客からの要望も急激に増え始めていました。そのため、さまざまなスペースに対応でき、ますます多様化する顧客層のユニークなニーズにも応えられるほど柔軟なビデオソリューションが早急に必要となりました。

そこで同社が導入したのが、ロジクール製品のポートフォリオです。DIRTT社は、アクセサリ、マウント、ケーブルの幅広いオプションによって完全カスタマイズ可能かつ簡単に導入できるソリューションを、顧客に提供できるようになりました。

「プラグ&プレイで1時間も経たずに会議室の準備が完了します」と、テクノロジー連携部門リーダーであるAndy Nolloth氏は述べています。

活用されたロジクール製品：Rally Bar、Rally Bar Mini、MeetUp、Scribe、Tap、Brio、Zone Wireless、Sync

[導入事例の全文を読む](#)

「当社は、自社で設計するほとんどのスペースにビデオ会議を組み込みます。そのさまざまな方法をご紹介しますよう努めています。会議室はごく一般的な用途ですが、個室やオープンなコラボレーションエリアにも導入を試みています」

TORI CNUDDE氏、DIRTT社、デザインディレクター





ELECTRONIC ARTS

Electronic Arts社（EA）のアムステルダムにあるオフィスでは、小さなハドルームと、複数のモニターをぜいたくに使用できる広いオープンワークスペースを、従業員が場面に応じて使い分けることがよくあります。しかし、ハイブリッドで働く従業員が世界中で増えるに従い、あらゆる場所にいるすべての参加者が、クリアな音声でオンライン会議を行えることが重要になってきました。

EAは、従業員が在宅勤務中でもベネルクス三国に居住している場合でも、干渉されることなく完全に集中した状態で日々の業務を遂行できるよう、ロジクール Zone Wirelessを採用しました。アクティブ ノイズキャンセレーション機能を搭載したZone Wirelessを使用すれば、同僚、子供、ペットの声といった周囲の騒々しい雑音をマイクが拾うことはありません。

活用されたロジクール製品：Zone Wireless

[導入事例の全文を読む](#)



「Zone Wirelessのおかげで通話中に音声と映像の質を保てます。Electronic Arts Beneluxでは、誰もが邪魔されることなく完全に集中した状態で仕事を遂行できます」

JEROEN ALBUS氏、ELECTRONIC ARTS社、ビジネスパートナーマネージャー（流通業者）



ポイント

ワークスペースの再構築は、人と人とのつながりを最優先すること、そしてコラボレーションの効果を高めるテクノロジーを利用することから始まります。そのためには、以下のことを行います。

- オフィスを共同体意識や人とのつながりを育む場所として捉える
- オフィス内の会議室とスペースを、集中力を必要とする個人作業から臨時の会議まで、幅広く対応できるように設計する
- 従業員がどこからでも作業に参加できるように、ワークスペースにコラボレーションツールを導入する

以上の方法でワークスペースを再構築すれば、従業員全員が、どこでも、テクノロジーを活用してより大きな組織とつながれるようになります。

新しいスペースの ご紹介

あらゆるスペースでビデオコラボレーションが可能になります。
新しい働き方のパラダイムを支える、ワークスペース再構築のビジョンをご紹介します。

没入型 スペース



没入型スペースは、ビデオ会議用に最適化されたデザインです。

幅が広い曲線型テーブルを壁に向けて配置し、座席と参加者の会議室前方のカメラに対する角度を調整できます。ハイブリッドの参加者も、視線を合わせた会話ができるようになります。

活用されたロジクール製品：

Rally Bar Mini

- 小～中会議室向け一体型4Kビデオバー
- AI自動フレーミングテクノロジー搭載のデュアルカメラシステム
- 高性能オーディオが豊かで自然なサウンドを実現
- ロジクール Syncで管理も簡単

コラボレーション、交流、オンライン会議のためのカジュアルなスペースです。

絆を深めたり新たな人間関係を構築したりと、職場への出勤を有意義なものにする場所です。

活用されたロジクール製品：

Rally Bar

- 中～大会議室向け一体型4Kビデオバー
- プラグ&プレイのコラボレーション。追加ソフトウェアは不要
- 最大7mの集音範囲
- 使いやすく、管理も簡単

ソーシャル スペース



ハドルスペースは、自然発生的なコラボレーションを行える、少人数チーム向けの個室です。

気軽に使える柔軟性の高いスペースで、ビデオ会議に適しています。

活用されたロジクール製品：

Rally Bar Huddle

- ハドルルーム向け一体型4Kビデオバー
- 卓上、壁面、ディスプレイ用のマウントオプション
- Tap IPでワンタッチで会議に参加
- Microsoft Teams、Zoom、Google Meetに対応
- カーボンニュートラル認定済み。再生プラスチックを42%使用

ハドル スペース



アイディエーション スペース



アイデアを生み出し、自由な創造的思考を促すインタラクティブなオープンスペースです。

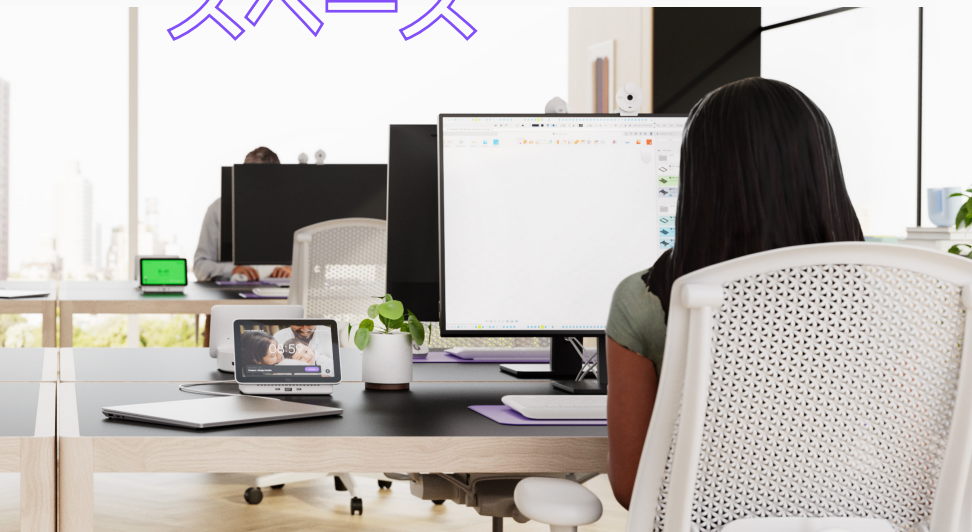
ビデオ会議機器を導入すると、より多くの人が会議に参加でき、さらに多くのアイデアを集めることができます。

活用されたロジクール製品：

Scribe

- ビデオ会議用ホワイトボードカメラ
- 内蔵のAIにより、視界を遮られることなくホワイトボードの画像を表示
- Microsoft Teams、Zoom、Google Meetに対応

デスク スペース



ハイブリッドワークで働く従業員がオフィスに出勤する際に使用するデスクを割り当てる、フレキシブルなワークステーションです。

マネージド ドッキング ステーションを追加すると、使用するデスクをすぐに見つけることができます。デスクの予約も簡単で、同僚の近くのスペースを選ぶこともできます。また、オフィスへの出勤時に同僚に通知することも可能です。

活用されたロジクール製品：

Logi Dock Flex

- ケーブルを確実に固定
- 容易なデバイス管理
- デスクの予約が簡単
- Microsoft TeamsおよびZoom認定

オフィスでの業務には、現地でのコラボレーションやビデオを使用した仮想コラボレーションなど、集中して取り組む作業もあります。従業員が目の前のタスクに集中できるように、雑音ブロック機能のあるヘッドセットが必要です。

活用されたロジクール製品：

Zone Wireless 2

- 相手側のノイズ抑制
- ノイズキャンセリングマイク 4 本
- ハイブリッド アクティブ ノイズキャンセレーション (ANC)
- 40mmドライバ、ダイナミック&パーソナルEQ搭載
- 認定：Microsoft Teams、Zoom、Google Meet、Google Voice、Fast Pair
- 低炭素アルミニウム*を使用。プラスチック部分には20%の再生プラスチックを使用**



*外装のリング部と装着位置調整用の可動部で使用

**プリント配線基板 (PWA) とパッケージのプラスチックを除きます。

フォーカス スペース



ビデオ通話にすぐに参加したり、集中して作業したり、リラックスしたりできるプライベートなスペースです。

じっくりと考えることが必要なときもあります。そのようなときには、誰にも邪魔されない空間があると便利です。

活用されたロジクール製品：

Logi Dock Focus Room Kit

- Logi Dock：ワンタッチで会議に参加できる操作性とスピーカーフォンを備えた一体型ドッキングステーション
- Brio 4Kウェブカメラ
- ケーブル管理キットにより安全に設置可能
- 単一のケーブルを接続するだけで利用可能。ワンタッチで会議に参加
- Microsoft Teams、Zoom、Google Meetに対応

ホーム オフィス



リモートオフィスでの生産性を高め、充実したワークスペースにするためのツールを従業員に用意しましょう。

在宅勤務を有意義なものにできます。

活用されたロジクール製品：

Brio 505

- 光補正、自動フレーミング、ショーモードを搭載の1080pウェブカメラ
- プラグ&プレイのソリューション
- Microsoft Teams、Zoom、Google Meet認定
- 内蔵プライバシーシャッター
- プラスチック部分に再生プラスチックを59%以上使用*

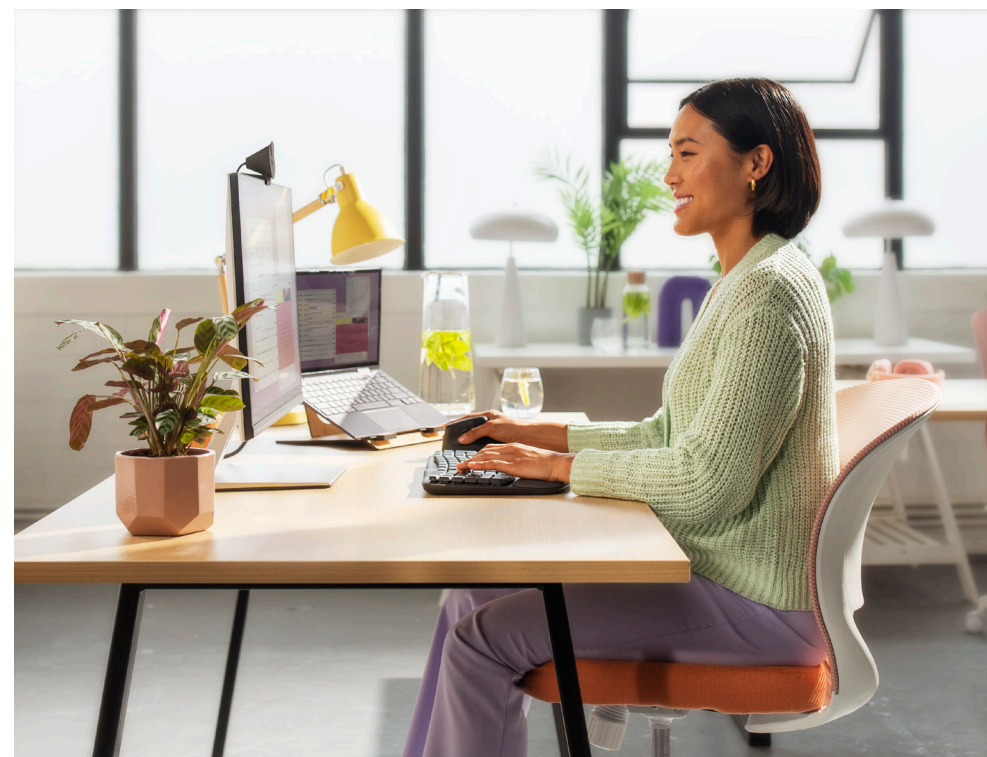
*アクセサリおよびパッケージを除きます。

人間工学では、ユーザー個人に合っているかどうかが非常に重要です。各ユーザーに合った、使いやすく人間工学に配慮したデバイスが好まれます。

活用されたロジクール製品：

Wave Keys for Business

- ウェーブデザインとクッション性のあるパームレストを採用
- 大型で使いやすい、曲線設計のキーキャップでスムーズにタイピング可能
- プラスチック部分に再生プラスチックを61%使用*
- USエルゴノミクス認定済み



*プリント配線基板、ケーブル、パッケージのプラスチックを除きます

A photograph of a modern office interior, viewed through a glass wall. Several people are seated at long desks, working on laptops. The office has a clean, minimalist design with grey desks and chairs. The lighting is bright and even. The text "新しいスペースを 最大限に活用" is overlaid in the center of the image.

新しいスペースを
最大限に活用



あらゆるスペースで さまざまなワークスタイル に対応

スペースの広さは必ずしも重要ではありません。適切な会議室設計とテクノロジーの導入により、限られた小規模なオフィススペースを洗練された作業スペースに変えることができます。自宅のパーソナルワークスペースについても同様です。

デバイスを会議室のデザインに融合

テクノロジーと家具を一つのまとまりとしてとらえましょう。カメラ、マイク、マイクポッド、デジタルサイネージを現実のスペースのデザインに溶け込ませるようにすることで、コラボレーション対応のワークスペースで、円滑なコミュニケーションを実現できます。





在宅勤務を 有意義なものにする

身体の健康状態は、どこで働いていても、すべての従業員に関係します。当社のホームオフィス向けパーソナルワークスペースツールのポートフォリオには、ウェブカメラ、ヘッドセット、ドック、キーボード、マウスに人間工学に配慮したデバイスを加えています。

ロジクールは、ITハードウェア担当の意思決定者を対象として調査を実施しました。調査によれば、オーディオやビデオのパフォーマンスを最適化する外付けのウェブカメラ、ヘッドセットなどのアクセサリを自社で従業員に支給していると回答した人は40%未満でした。多くの従業員が、すでに1年以上にわたってリモートから会議に参加しているにもかかわらずです。



ビデオコラボレーションをどこからでも可能に

オフィスのあらゆるスペースに会議用カメラ、マイク、インタラクティブスクリーン、ホワイトボードカメラを導入しましょう。会議を簡単に始めることができ、臨時のブレインストーミング、ホットデスクング、交流会にリモートからの参加者を受け入れることができます。



デバイスとソフトウェアのモニタリングも簡単

IT関連のスペースにあるソフトウェア デバイスを簡単に管理できる技術基盤を構築するときは、ロジクール Syncなどを使用します。

logicool®

すべての人々 すべてのスペース

logicool®

www.logicool.co.jp/business

購入前のお問い合わせ：
株式会社ロジクール <https://www.logicool.co.jp/ja-jp/video-collaboration/help/contact-sales.html>

発行：2023年10月

購入後のお問い合わせ：
株式会社ロジクール
カスタマーリレーションセンター
<https://prosupport.logi.com/>
電話：852-2821-5900
ファックス：852-2520-2230

¹ MicrosoftのCEOであるSatya Nadella氏のYahoo Financeにおける発言（2022年10月17日）：
<https://finance.yahoo.com/news/microsoft-ceo-on-hybrid-work-171834091.html>

² 「トロントで開催のWorkBetterLabでSteelcaseとPOIが従業員が働きなくなるオフィスを紹介」、POI.ca
（2022年3月14日）

³ 「リーダーシップをデザインする」、Steelcase.com

© 2023 Logitech, Logicool. All rights reserved. 株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本人です。記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に含まれる製品、価格設定および機能情報は、予告なく変更される場合があります。